

2026 年度 助産別科Ⅲ期 母性看護学 模範解答

問題番号	模範解答
問題1	4
問題2	3
問題3	3
問題4	3
問題5	4
問題6	5
問題7	2
問題8	1,3
問題9	5
問題10	1
問題11	1
問題12	1
問題13	3
問題14	1
問題15	2
問題16	4
問題17	5
問題18	4
問題19	3
問題20	2
問題21	1
問題22	5
問題23	5
問題24	1
問題25	3

問題番号	模範解答
問題26	5
問題27	1,3
問題28	3,4
問題29	4
問題30	3,4
問題31	3,5
問題32	2,5
問題33	2
問題34	4
問題35	1
問題36	4
問題37	1
問題38	4
問題39	2
問題40	4
問題41	2
問題42	3
問題43	3
問題44	4
問題45	1,5

記述式解答
問題46

本設問は、与えられたテーマに基づき、設問の意図を正しく理解し、それに沿った自身の考えを論理的に記述する問題であり、特定の正解は設けていない。

≪ 解答例 ≫

****リプロダクティブ・ヘルス／ライツ（Reproductive Health/Rights）****とは、性と生殖に関する健康と権利のことである。すべての人が、妊娠・出産・避妊などについて正しい情報や医療を受け、自らの意思で選択できる権利を持つという考え方である。

一人ひとりの生き方や価値観を尊重する上で重要であり、妊娠や出産に関する選択は個人にとって大きな意味を持つため、周囲が本人の意思を尊重し、安心して選択できる環境を整えることが大切である。そのためには、誰もが必要な情報や支援を平等に受けられる社会を目指す必要がある。

****女性を中心としたケア（Women Centered Care）****とは、女性を単に医療を受ける対象として捉えるのではなく、一人の人間として尊重し、その価値観や意思、経験を大切にしながら支援する考え方である。妊娠・出産・育児の場面では、女性自身が十分な情報を得たうえで主体的に意思決定できるよう援助することが重視される。

女性を中心としたケアは安心して妊娠・出産を迎えるために重要な考え方。出産に対する希望や不安は一人ひとり異なるため、医療者の考えを優先するのではなく、女性の思いに寄り添い、その選択を尊重することが大切である。また、身体的なケアだけでなく、心理的・社会的な背景も含めて支援することで、女性が自分らしく出産や育児に向き合えたと考える。